

# 令和5年度 岩手県立雫石高等学校経営計画

校長： 佐々木 佳史

|  |  |  |
|--|--|--|
| <p>1 校訓・教育目標</p>   | <p>■校訓「点滴穿石」：継続して努力することを惜しまない、未来を担う人材の育成</p> <p>■教育目標</p> <p>確かな学力と人間力を身につけて、地域の未来に貢献できる生徒の育成</p> <p>ア 主体的に学ぶ意欲を持ち、自己実現に向けて努力する生徒の育成</p> <p>イ 未来を切り拓く意欲を持ち、地域や社会へ貢献する生徒の育成</p> <p>ウ 心身ともに健康で、集団や個人を尊重する姿勢と豊かな人間性を持つ生徒の育成</p> |  |
| <p>2<br/>ス<br/>ク<br/>ー<br/>ル<br/>・<br/>ポ<br/>リ<br/>シ<br/>ー</p> | <p>(1) 育成を目指す資質・能力に関する方針<br/>(グラデュエーション・ポリシー)</p>  | <p>ア 答えが一つとは限らない現代的な課題に対して、他者と調和し協働しながら、主体的に取り組む力を育成します。</p> <p>イ 常に向上心と目標に向かって進もうとする意欲を持ち、何事にも前向きにチャレンジする力と行動力を育成します。</p> <p>ウ 郷土の文化や伝統を理解するとともに、他地域や世界にも目を向けて、異文化理解や国際理解などグローバルな視点や思考を育成します。</p> <p>エ 地域社会への帰属意識を身に付け、批判的な分析力と解決のための建設的な手立てを作り出せる生徒を育成します。</p>   |
|  | <p>(2) 教育課程の編成及び実施に関する方針<br/>(カリキュラム・ポリシー)</p>   | <p>ア 全教科・科目において、対話型の授業を通して、各自の考えや意見を述べる機会を設け、表現力や論理的な思考力を身につけます。</p> <p>イ ICT機器を活用した授業を行い、問題解決に向けた手順や手法、情報の収集や整理・分析、情報発信などを実践しながら情報活用能力を身につけます。</p> <p>ウ 「総合的な探究の時間」では、「虹色コンパス」として、雫石地域をフィールドに据え、豊富な地域資源（観光、ものづくりなど）を有効に活用して、地域課題を題材とした探究活動を行ない、科学的な思考力やプレゼンテーション能力を身につけます。</p> <p>エ 社会性や職業観を高めるために、インターンシップや上級学校見学を実施して、多様な人との関わりの中でコミュニケーション能力を身につけると同時に、自らがコミュニティの形成者であるという自覚を育てます。</p> |
|  | <p>(3) 入学者の受け入れに関する方針<br/>(アドミッション・ポリシー)</p>   | <p>ア 素直で高校生活に夢と目標をもち、学習活動と部活動などの特別活動、学校行事や資格取得などに前向きにチャレンジしようとする生徒</p> <p>イ 夢の実現に向けて、身につけた知識や技能を人生や社会で生かそうとする気概を持つ生徒</p> <p>ウ 自分の住む町や地域の発展に貢献したい、郷土の文化や伝統を大切にしたいという意欲のある生徒</p> <p>エ 他者の気持ちを理解し、感謝の気持ちをもって行動できる生徒</p>   |
| <p>3 魅力化協働パートナー</p>  | <p>雫石町、雫石町教育委員会、まちサポ「雫石」、雫石高等学校教育振興協議会、雫石高校を支援する会、雫石町商工会議所青年部、雫石町社会福祉協議会、(株)しずくいし、雫石プリンスホテル、盛岡西消防署雫石分署、同窓会、PTA、</p>  |  |

|   |              |  |   |
|---|--------------|--|---|
| 4<br>目指す<br>学校像   | (1) 今年度の重点目標 | 重点目標   | 達成指標  |
|   |              | ア 基礎・基本を重視した授業実践と生徒の主体的な学びの推進並びに学力の向上  | 「授業がわかる」【生徒 85%以上】<br>「授業に積極的に取り組んでいる」【生徒 80%以上】                  |
|   |              | イ 生徒の自己実現に向けたキャリア教育の推進   | 「自分には、よいところがある」【生徒 75%以上】<br>「進路志望を達成できた（3年生）」【90%以上】             |
|   |              | ウ 地域との協働を中心とした活動実践とその充実  | 「地域活動に積極的に取り組んでいる」【生徒 75%以上】<br>「学校は地域と積極的に連携している」【保護者 80%以上】     |
|   |              | エ 学校いじめ対策組織を中核としたいじめの防止  | 「雫石高校へ入学してよかった」【生徒・保護者 90%以上】<br>「学校は、悩みや相談にのってくれる」【生徒・保護者 85%以上】 |
|   |              | オ 教員の資質向上（スキルアップ）  | 「授業の説明や進め方がわかりやすい」【生徒 85%以上】<br>「学校からの情報が適切に伝わっている」【保護者 80%以上】    |
|   | (2) 取組方針     | ア 基礎・基本を重視した授業と生徒の主体的な学びの推進並びに学力の向上<br>(ア) 個に応じたわかる授業を実践し、基礎学力の定着と学力向上を目指す。<br>(イ) 主体的・対話的で深い学びへと結びつく授業を実践する。<br>(ウ) 生徒が主体的に探究的な学びが実践できるよう支援する。                  |   |
|   |              | イ 生徒の自己実現に向けたキャリア教育の推進<br>(ア) 自分の在り方や生き方を考えさせ、将来にわたって学ぶ姿勢を育む。<br>(イ) 将来の夢や希望を目指して取り組む意欲的な態度を育む。<br>(ウ) 生徒一人ひとりに応じた進路指導により、進路志望の実現を目指す。                           |   |
|   |              | ウ 地域との協働を中心とした活動実践とその充実<br>(ア) 地域活動やボランティア活動への参加を奨励し、生徒一人ひとりが自主的・自発的に特別活動へ取り組む姿勢を育む。<br>(イ) 探究活動の一環である「雫高虹色コンパス」を深化させ、また、復興に取り組む学校との交流を通して、生徒の主体的・探究的な活動の充実を目指す。 |   |
|   |              | エ 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」の推進（未然防止）<br>(ア) コミュニケーション能力を育み、社会性と規範意識を醸成する。<br>(イ) 生徒全員が、主体的に取り組む共同的な活動の中で、自己の存在感や充実感を得られるような授業づくりや特別活動の実践を目指す。                           |   |
| オ 教職員の資質向上（スキルアップ）<br>(ア) I C T 機器を効率的に活用し、授業改善を実践する。<br>(イ) P T A や地域の外部団体との連携を密にして、本校の情報発信に努める。 |              |  |   |